

新型コロナウイルス感染症を重症化させないために

肺の生活習慣病COPDは 早期の発見と治療が大切です

(慢性閉塞性肺疾患)

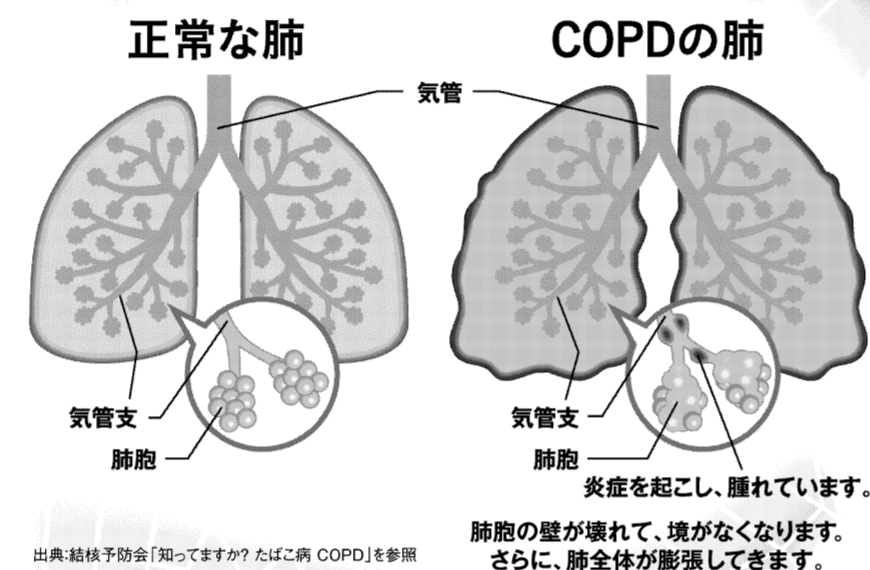
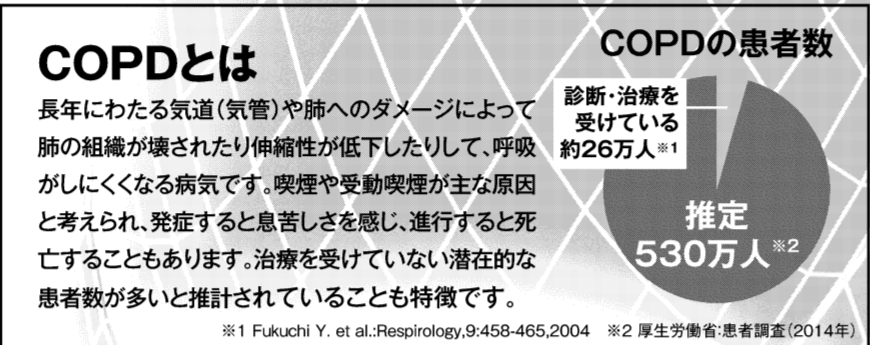
肺の健康を気にかけて生活していますか? これらの症状はCOPDかもしれません



放置すると全身に影響する可能性があります

COPDは動脈硬化や心不全、脳血管障害などを発症するリスクが高まったり、糖尿病や高血圧などの病気を悪化させたりと全身への様々な影響が報告されています。昨今の研究では、新型コロナウイルス感染症の重症化につながる病状であることもわかっています。これらの症状を加齢によるものと決めつけず、医師の診察を受け早期に対処することが必要です。

症状がある人は、お近くの医療機関にご相談ください
肺の健康チェックシートはこちら
<http://www.asahi.com/ad/copd/page02.html>



死亡原因	1990年	2020年	順位変化
虚血性心疾患	1	1	0
脳血管障害	2	2	0
COPD	6	3	↑3
肺炎・気管炎	3	4	↓1
肺がん	10	5	↑5
交通事故	9	6	↑3
結核	7	7	0
下病性疾患	4	11	↓7
分娩に伴う傷害	5	16	↓11
麻痺	8	27	↓19

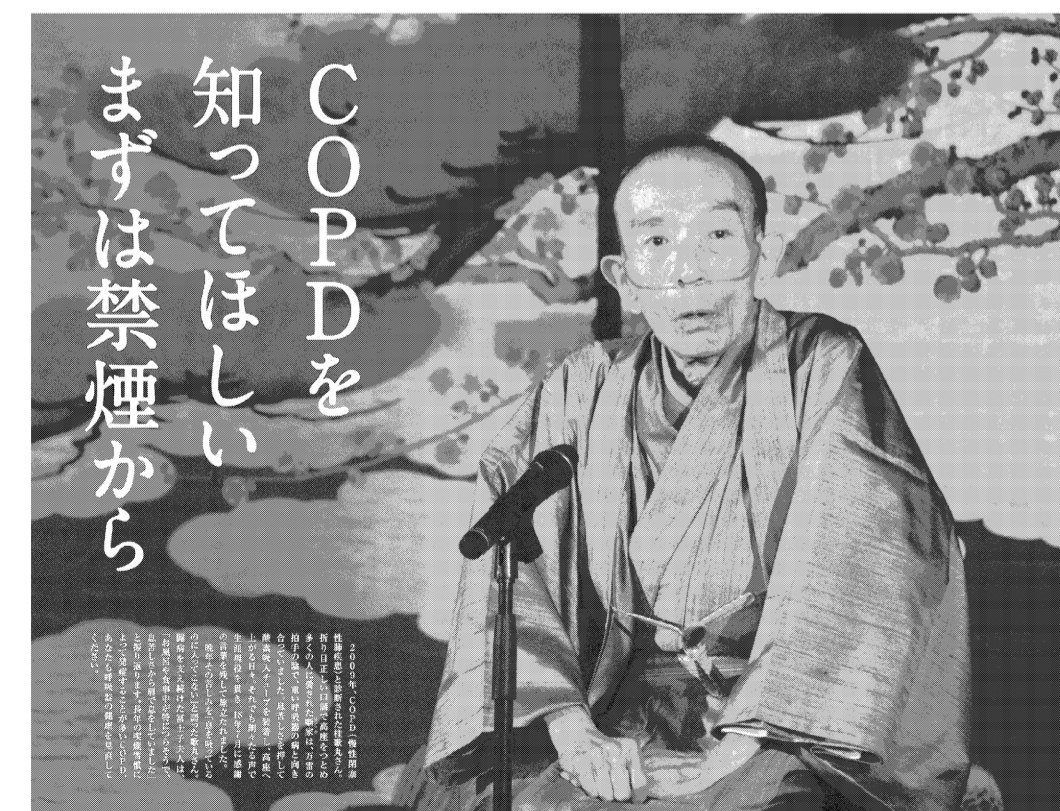
WHOによる世界の死亡原因ランキング (2020年は予測)

1997年のWHO(世界保健機関)による死亡原因予測(左図)では、2020年には第3位になると予測されました。18年と同じくWHOが発表した死亡原因ランキング(16年)ではすでに第3位となっていて、世界的に死者数が増えていることがわかります。

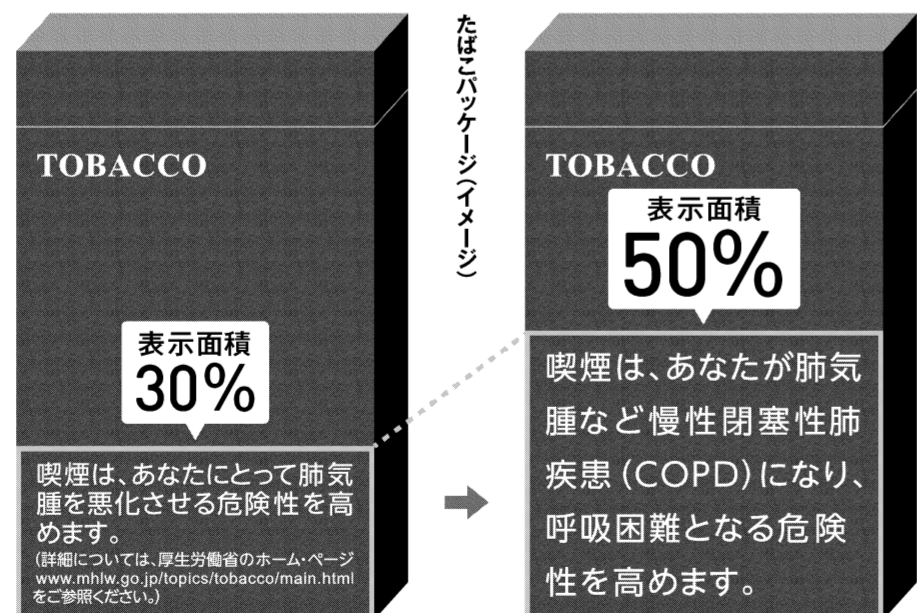
※Murray, C.J. et al.: Lancet, 349(9064): 1498, 1997
出典: 日本呼吸学会「知って得る! たばこ COPD」を参照

一般社団法人COPD啓発プロジェクトの主な取り組み 2012年の設立以来、COPDの認知率向上に向けて多様な施策を展開してきました

故・桂歌丸さんを啓発ポスターに起用し
医療機関などに配布しました



全銘柄のたばこパッケージに
COPDが記載されました



たばこのパッケージに表示する注意文言に「COPD」が加わりました。本プロジェクトでは認知率向上のための啓発活動とともに、行政への働きかけに注力してきました。たばこパッケージにCOPDに関する表記を加えることは長年の取り組みの成果の一つです。

私たちは、COPD啓発プロジェクトを応援しています

日本COPD対策推進会議(日本医師会、日本呼吸器学会、結核予防会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、GOLD日本委員会)
(提供)日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社/グラクソ・スミスクライン株式会社/アストラゼネカ株式会社/
株式会社メディカルホールディングス/WOLL(合同会社ウェルネスオーブンリビングラボ)(後援)日本医学会、国立研究開発法人国立がん研究センター



【特別座談会】新型コロナウイルスとCOPD 肺から全身に影響する二つの病気を知る

**世界で猛威をふるう
新型コロナウイルス**

高久 昨今また新型コロナウイルスの感染者が増えています。まず、罹患された方に、お見舞いを申し上げます。同時に最新鋭で治療にあたる医療従事者の方々に、苦勞様とお伝えしたいと思います。

西村 状況は日々変わっています。W・I・Cの時代になったとも言えます。今日はこの病気がアテマですが、新型コロナウイルスの診療は、どのような状況でしょうか。

出雲 昨年12月に新たなウイルスとして報告されてから時間は経りましたがまだわからないことが多いですね。専門家が予防のためのワクチンや確立された治療薬もない中、患者さんにはもちろん病気を扱う我々も不安があります。現時点ではできる限り感染しないよう行動することが最も重要です。

西村 重症の肺炎を引き起こす新型コロナウイルスと肺基礎疾患の病気の原因となる病状であるCOPDの二つの関係性についてお話を聞きます。

桑平 COPDの患者さんは新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが2〜3倍は高くなることわかっています。ウイルスが細胞の中に入るとは受容体というのを要しますが、COPDを発症したりその程度が強くなるとウイルスが細胞の中に入りやすくなります。また、糖尿病、高血圧、肥満のように重症化しやすい基礎疾患があります。肺の代表格はCOPDですが、とりわけ予後が悪い印象があります。桑平 はい、その点は気にかけてください。肺には予備能力があるのですが、COPDで壊された肺の残りの部分にウイルスがついて肺炎を起せば、十分に呼吸ができなくなります。当然死亡率は高まります。

高久 新しい新型コロナウイルスは肺炎のほかにも血栓症を起して脳梗塞や心臓血管障害などにつながることもわかっています。そのあたりはいかがですか。



一般社団法人COPD啓発プロジェクト 理事長
公益社団法人地域医療振興協会 会長
前 日本呼吸学会 会長
高久史磨先生

**COPDの発症原因は
喫煙などの肺へのダメージ**

西村 改めてCOPDとはどんな病気でしょうか。

桑平 気道(気管)から肺内部のすみずみまで慢性的な炎症を起し呼吸機能が低下します。息を吸っても十分に吐けないので、膨らんだ空気が肺に残ります。これは肺が腫れた状態と似ています。肺が膨張すると心臓が圧迫されるために、全身に血液を送る力が弱まるという影響も生じます。高久 COPDの原因は喫煙や喫煙です。COPDの代表的な症状とはどのようなものでしょうか。

出雲 労作時の息切れですね。じっとしていなくても息苦しくならない、しかし動くことも苦しい、患者さんの声として「重い」とか「苦しい」とか「動くと苦しい」というのがポイントで、動くことも年齢や体力的なことだと考えられても、病気がしれないという意識を持ってほしいと思います。

桑平 COPDでは全身の影響があります。全身の慢性的な炎症が生じます。息苦しくからず呼吸器以外の糖尿病、動脈硬化や骨粗鬆症や抑うつ状態が続き、心臓や腎臓や腸や肝臓、肺がんも動脈硬化などが進行しやすくなります。コロナ禍のハイパーオキシジェン身体活動の低下は、大きな懸念事項です。

西村 特徴として、大抵は「診断が難しい病気だ」といいます。日本での死亡原因を見ると、肺炎がCOPDを基礎疾患として隠れているケースが多くなっています。日本ではこのように、COPDはこれの基礎疾患として隠れているケースが多くなっています。日本ではこのように、COPDはこれの基礎疾患として隠れているケースが多くなっています。日本ではこのように、COPDはこれの基礎疾患として隠れているケースが多くなっています。



一般社団法人COPD啓発プロジェクト 理事長
北海道大学 名誉教授
北海道呼吸器疾患研究センター 理事
西村正治先生

**多様な治療によって
症状をコントロール**

西村 COPDは喫煙がほとんどの原因であるため、まずは禁煙が大切です。これは軽症中等症重症という関係は重視しています。COPD患者が肺炎にかかると死に至る可能性が高まります。肺炎球菌ワクチンを積極的に接種します。

高久 なるほど。検査はどのように行いますか。

出雲 胸部X線検査を少なくとも低線量CT、呼吸機能検査とですね。西村 Cで視覚的にCOPDの症状の端である肺気腫の有無や肺の塊方を見る。そして呼吸機能検査で肺がどれだけの機能を果たしているかを見ます。桑平 形態と機能の両面からアプローチが大切だと思います。

出雲 同じような症状でも他の病気が隠れていることもあるため、様々な可能性を鑑別する必要があります。

桑平 呼吸機能検査は、ゆっくり大きく吸って吐いた後、肺活量と、胸のばいばい吸ったところからできるだけ吐く努力をして最初の秒間を指し出すかという「一秒量」の二つを指標にします。検査の目安となるのは「一秒量」が肺活量の70%を出すと、肺に障害が起きている状態と判断されます。肺に障害が起きていると予断される数値です。

出雲 COPDで診断される上で、こうした呼吸機能検査は最も重要なものであると思います。

桑平 検査で早く見つけるためにも、今後は一般のクリニックの先生方と我々専門医との連携強化を進めたいと考えています。

西村 私が担当する患者さんにも長年心疾患の治療を受けていたものも、切れが改善せず呼吸器内科を受診して初めて改善した患者さんがいます。これは軽症中等症重症という関係は重視しています。COPD患者が肺炎にかかると死に至る可能性が高まります。肺炎球菌ワクチンを積極的に接種します。



東海大学医学部付属東京病院
呼吸器内科 特任教授
桑平一郎先生

テージにわからず言えることだと思えます。

桑平 この10、20年ほどで随分進歩しているから、あきらめず治療に向かっています。

出雲 重症化した際の酸素療法でも、リハビリや薬を服用するなどの治療が、タバコを控えることにもつながります。

西村 酸素療法というこの病気に伴うおける終わりを余さず思われが、社会活動に積極的に参加するためのツールなど、ことごとくお伝えしたいところです。欧米では酸素を吸い



日本赤十字社医療センター
呼吸器内科 部長
出雲雄大先生

COPDの主な治療法

禁煙、薬物療法、歩行、食事療法、毎日欠かさず続ける

西村 国内の疫学データでは、4分の1ほどの患者さんが自身で喫煙していません。禁煙は、軽症例を含めて考えれば、非喫煙者とは全く関係ない病気だとは言えないと思います。

高久 有効な治療薬は出てきたのでしょうか。

出雲 気管支を拡張させる薬、気管支の収縮を抑制する薬と吸入薬が充実してきました。治療は、それらを使う薬物療法、食事療法、歩行がメインですが、内視鏡手術なども取り入れられるようになってきました。呼吸リハビリテーションも含め、症状をコントロールするための様々な方法があります。

西村 先行も欠かせません。COPDは、高血圧や糖尿病や動脈硬化や骨粗鬆症や抑うつ状態が続き、心臓や腎臓や腸や肝臓、肺がんも動脈硬化などが進行しやすくなります。コロナ禍のハイパーオキシジェン身体活動の低下は、大きな懸念事項です。

本日も9月30日(水)21:00~21:29 BS12 トゥエルビで放送(予定)

正しく知って対策を
フリーアナウンサー 赤江珠緒さん

COPDは患者数が多いにもかかわらず、治療を受ける人がまだまだ少ない病気だといわれています。私たちが気にかけている新型コロナウイルス感染症との関係、全身への影響など様々な話を伺いました。ぜひご覧ください。

※放送後は、<http://www.asahi.com/ad/copd/>で視聴できます。